

令和5年度茨城県国保連合会予算概要について

○一般会計・業務勘定等

次期国保総合システム開発に伴う国保中央会負担金及び備品購入費などにより、9,586,928千円（対前年度比 330,132千円、3.6%増）の予算となる。

会計別	当初予算		比較(①-②)	対前年比	主な歳出の増減理由
	令和5年度①	令和4年度②			
一般会計	千円 563,654	千円 629,852	千円 △ 66,198	% △ 10.5	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計関連システム機器更改による備品購入費(R4購入)の減(△62,668千円) ・電気料の値上げに伴う需用費(光熱水費)の増(9,564千円) ・財務会計関連システム、人事給与システム等委託料の増(4,830千円) ・財務会計関連システム導入作業経費積立金(R4購入)の減(△9,361千円) ・退職会計繰出金の減(△13,095千円)
診療報酬審査支払特別会計(業務勘定)	2,520,883	2,147,118	373,765	17.4	<ul style="list-style-type: none"> ・次期国保総合システム開発に伴うシステム導入作業委託料の増(75,239千円) ・次期国保総合システム端末・プリンタ等備品購入費の増(79,269千円) ・次期国保総合システム開発に伴う国保中央会負担金の増(21,898千円) ・次期国保情報集約システム開発に伴う国保中央会負担金(新設)の増(90,448千円) ・新型コロナウイルスワクチン接種取扱い件数減による委託料の減(△8,009千円) ・特別審査委員会負担金の増(2,590千円) ・電算処理システム導入作業経費積立金の減(△8,180千円) ・減価償却積立金の増(16,212千円) ・ICT等を活用した審査支払業務等の高度化・効率化のための積立金の増(76,381千円) ・他会計(一般会計・退職会計)繰出しの減(△72,104千円) ・公課費の増(33,480千円)
後期高齢者医療事業関係業務特別会計(業務勘定)	1,449,789	1,321,802	127,987	9.7	<ul style="list-style-type: none"> ・次期国保総合システム開発に伴うシステム導入作業委託料の増(54,901千円) ・次期国保総合システム端末・プリンタ等備品購入費の増(43,152千円) ・次期国保総合システム開発に伴う国保中央会負担金の増(4,042千円) ・電算処理システム導入作業経費積立金の増(6,582千円) ・減価償却積立金の増(4,781千円) ・ICT等を活用した審査支払業務等の高度化・効率化のための積立金の減(△16,901千円) ・他会計(一般会計・退職会計)繰出しの増(21,239千円)
特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計	1,736,360	1,816,959	△ 80,599	△ 4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査・特定保健指導等費用支出金(受入金)の減(△54,236千円) (過去数年間の伸び率から推計) ・人件費の減(△6,555千円) ・ウイルス対策ソフト及びOffice導入作業委託料の増(2,904千円)
妊婦・乳児健康診査委託料審査支払事業特別会計	1,873,754	1,877,630	△ 3,876	△ 0.2	<ul style="list-style-type: none"> ・次期基幹系外付けシステムサーバ・端末等備品購入費の増(5,416千円) ・人件費の減(△9,138千円)
介護保険事業関係業務特別会計(業務勘定)	333,812	270,346	63,466	23.5	<ul style="list-style-type: none"> ・独自開発システム(外付けシステム)移行作業委託料の増(3,589千円) ・独自開発システム(外付けシステム)サーバ・端末等備品購入費の増(10,220千円) ・ケアプランデータ連携システムライセンス料支出金(受入金)の増(5,775千円) ・介護保険審査支払等システム改修負担金の増(9,269千円) ・ICT等を活用した審査支払業務等の高度化・効率化のための積立金の増(30,609千円)
障害者総合支援法関係業務等特別会計(業務勘定)	118,035	118,079	△ 44	0.0	<ul style="list-style-type: none"> ・電子請求共同受付システム等負担金の増(2,465千円) ・ICT等を活用した審査支払業務等の高度化・効率化のための積立金の減(△1,422千円)
第三者行為損害賠償求償事務処理業務特別会計	863,004	893,006	△ 30,002	△ 3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者行為損害賠償金支出金(受入金)の減(△30,000千円) (過去数年間の伸び率から推計)
職員退職手当特別会計	127,637	182,004	△ 54,367	△ 29.9	<ul style="list-style-type: none"> ・退職手当の減(△44,753千円) (定年退職者：R4年度4名→R5年度2名)
一般会計・業務勘定等計	9,586,928	9,256,796	330,132	3.6	

○支払勘定

後期高齢被保険者数の増加、新型コロナウイルス感染症による受診控えからの回復などにより、869,425,834千円（対前年度比 14,789,129千円、1.7%増）の予算となる。

会 計 別	当初予算		比較 (①-②)	対前年比	主な歳出の増減理由
	令和5年度 ①	令和4年度 ②			
審査支払特別会計 (国保)	千円 186,035,920	千円 181,631,510	千円 4,404,410	% 2.4	・過去数年間の伸び率から推計
〃 (公費負担医療)	3,809,585	3,576,785	232,800	6.5	・過去数年間の伸び率から推計
〃 (医療福祉費)	7,488,948	7,237,245	251,703	3.5	・過去数年間の伸び率から推計
〃 (出産育児一時金)	866,850	722,376	144,474	20.0	・過去数年間の伸び率から推計
〃 (健康保険)	9	9	0	0.0	
〃 (抗体検査等費用)	752,747	1,164,587	△ 411,840	△ 35.4	・過去数年間の伸び率から推計
支払勘定 後期高齢者医療事業関係業務特別会計(後期高齢者医療)	343,402,132	334,787,332	8,614,800	2.6	・過去数年間の伸び率から推計
〃 (公費負担医療)	1,098,545	928,145	170,400	18.4	・過去数年間の伸び率から推計
〃 (歯科健康診査)	44,006	44,006	0	0.0	・過去数年間の伸び率から推計
介護保険事業関係業務特別会計 (介護給付費)	239,287,873	239,700,975	△ 413,102	△ 0.2	・過去数年間の伸び率から推計
〃 (公費負担医療)	3,052,185	2,970,033	82,152	2.8	・過去数年間の伸び率から推計
障害者総合支援法関係業務等特別会計 (障害介護給付費)	66,875,341	66,238,637	636,704	1.0	・過去数年間の伸び率から推計
〃 (障害児給付費)	16,711,693	15,635,065	1,076,628	6.9	・過去数年間の伸び率から推計
支 払 勘 定 計	869,425,834	854,636,705	14,789,129	1.7	
総 合 計	879,012,762	863,893,501	15,119,261	1.8	